



(一財) 兵庫県学校厚生会第14回写真公募展～子どもの世界～
兵庫県教育長賞
こと子 泰明さん(西宮市立名塩小学校)撮影



日本教職員組合
中央執行委員長 清水秀行

兵庫県教職員組合の皆様、

あけましておめでとうございます。

学校では、一斉休業・分散登校などで教育課程の展開や子どもたちの活動が大変な影響を与えていました。今年の7月豪雨、台風は甚大な被害をもたらしました。新型コロナウイルスは、日本の社会・経済に極めて深刻な影響を与えています。

昨年の7月豪雨、台風は甚大な被害をもたらしました。新型コロナウイルスは、日本の社会・経済に極めて深刻な影響を与えていました。今年の衆議院選挙では、「共生・共助」を求め、社会を変える運動とともに展開していくま

「古賀ちかげ」さんを推薦決定!

第26回参議院議員選挙(2022年夏)



子どもくらし平和

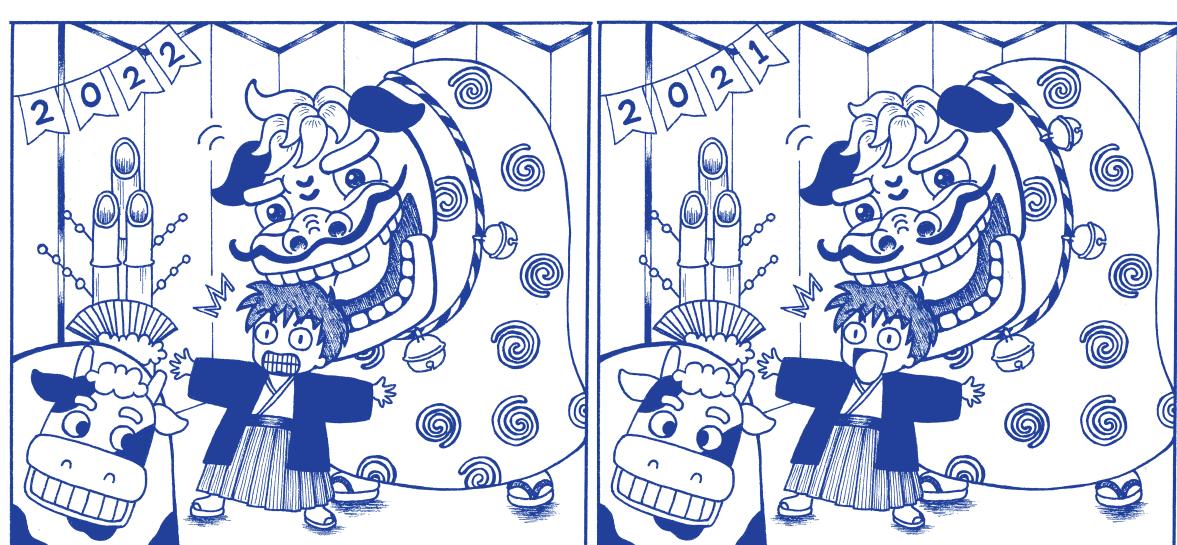
推薦を決定した。

古賀さんは福岡県教組出身、日教組専門委員特別中央執行委員を経験し、子どもの人権・学習権の保障にとりくんできました。解散総選挙における日政連・参議院選挙における日政連・参議院議員比例代表候補予定者「古賀ちかげ」さんの必勝にむけ、日教組と連携し、組織の総力をあげてとりくもう。

お正月 ファミリー パズル

右と左の絵をよく見くらべると、違っているところが10カ所あります。

どちらかの絵に10カ所赤丸を入れ、切り取ってはがきに貼って送ってください。お名前、年齢、地域組合名、住所(郵便番号も)を明記の上、



まちがい探し

パズル制作: ひろみよこ

ご応募ください。また、本紙の感想などもお寄せください。20名様に粗品を差し上げます。

締め切り: 1月31日(消印有効)

あて先: 〒650-0004 神戸市中央区中山手通4-10-8ラッセホール4F「教育ひょうご編集部」

日頃のご支援に感謝申し上げます。今後も仲間とともに懸命の努力を続けてまいります。
変わらぬご厚情をお願いいたします。

兵政連一同



兵庫県教職員組合
中央執行委員長 川原芳和

昨年は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響か

ら、3ヶ月にわたる学校・園の一斉臨時休業や様々な行事や活動が中止や延期され、規模縮小となり、通常通りの教育活動がおこなえない状況が続いた1年となりました。多くの皆様がそれぞれの立場で大変なご苦労をされています。改めて皆様の日々の活動・ご奮闘に敬意を表します。

10年先を見すえ次の時代を担う若い教職員の皆様にこれまでの運動の歴史や

教育研究活動をしつかりと語り継ぎ、人権の視点を大切にした教職員の協力・協働によるここでの通りあう

学校づくりにむけ、日常的

に組合活動の見える化

運動にとりくんでまいります。

また、兵庫教育文化研究

所を研究活動の「核」とし

て、予測困難な時代の20

30年の教育改革を展望

し、提言(第6次)の策定

やポストコロナを見すえた

「チーム兵教組」として力

を合わせ、「参加・提言・改

革」の運動を力強くすすめ

てまいります。本年も、どうぞよろしくお願ひ申し

ます。

そして、29地域組合が

「チーム兵教組」として力

を合わせ、「参加・提言・改

革」の運動を力強くすすめ

てまいります。本年も、どうぞよろしくお願ひ申し

ます。

会的対話をすすめ、「いき

るつながるみちひらく」

をキーワードに、子どもた

ちが夢や希望を持ち、成長

が実感できる兵庫らしい教

育実践にとりくんでいま

しょう。

子どもたちの学びや育ちを大切にする一年に!

謹んで新年のお慶びを申し上げます。



発行所 神戸市中央区中山手通4丁目10-8
兵庫県教職員組合
発行人 兵庫県教職員組合
代表者 川原芳和修
編集人 川原芳和修
電話 050(3538)2346
1部15円 年定価360円
(組合員の購読料は)
(組合費の中に含む)

2021/1/1

No.2014

新年号

子どもたちの「学び」と教職員の働きやすい環境のために
ス感染症(covid-19)の流行、それに伴う突然の全国一斉休業要請により、学校現場は大きな混乱に巻き込まれました。教職員の業務量はますます増加しています。コロナ禍においても業務削減を進め、定数改善によって少人数級を実現することが教育現場の喫緊の課題です。子どもたちの「学び」と教職員の働きやすい環境づくりのために、この一年も頑張ってまいります。

参議院議員 水岡俊一



水岡俊一

参議院議員 那谷屋正義

今こそ真の教育改革を実現しよう!

しまいましたが、子どもたちの健康と安全、学習の場の保障にご尽力されていることに心から敬意と感謝を申し上げます。

少人数学級の実現と現場の実態に応じた加配措置、予算の確保、教職員の働き方改革、教員免許更新制度の見直し等、今こそ抜本的な見直しが求められています。

改革の実現に向けて今年も全力でとりくみます。ともに頑張りましょう!

学校現場からの真の教育改革の実現に向けて今年も予算の確保、教職員の働き方改革、教員免許更新制度の見直し等、今こそ抜本的な見直しが求められています。

改革の実現に向けて今年も予算の確保、教職員の働き方改革、教員免許更新制度の見直し等、今こそ抜本的な見直しが求められています。

第70次兵庫県教育研究集会 基調提案

「過去に学び、現在を見つめ、未来を展望する」
～「コロナ禍」における課題から、改めて「学校」のあり方を問い合わせ直す～



勝木 洋子さん

日本のコロナ事情とカナダのコロナ事情を比べて話をさせていたいただく。

日本で、新型コロナウイルス感染者本人や隔離が必要な人に対して、2週間の病気休暇中、週500ドル(4万円~5万円)が支給される制度がある。その人たちが安心して治療ができる。

また、12歳以下の子どもがいる保護者で、学校や保育所が閉鎖されたら、この家庭にも500ドルが26週間(約半年)支払われる。

日後には自分の口座に振り込まれる。そのようなシステムで、すぐに州や政府がカバーしてくれる現状がある。

9月から小学校が始まつたが、必要であれば無料で、心の持ち方にすごく

社会的弱者に対し

いふべきことではない。

このコロナ禍とコロナ危機をどう受け止めるのかの整理をする必要がある。今後どうなるのかということを見通せない状況である。

まずは、新型コロナウイルスだけが悪い、それだけ退治し、そこから私たちはどう身を守っていくのかだけを考えていいかどうかという根本的な問題がある。

このような感染症の問題は、ウイルス、感染症などと向き合うのか。そのこと

と向き合いながら、私たちの社会をどのように問い合わせ直す

ことができる。命のあり方などが見通せない状況である。

まず、この問題を捉える

基本は、新型コロナウイルスだけが悪い、それだけ退治し、そこから私たちはどう身を守っていくのかだけを考えていいかどうかという根本的な問題がある。

このコロナ禍は、不平等

や格差の問題と切っては切

り話せない関係にある。ど

ういうふうなところに多く出

ている。社会的弱者に対し

いふべきことではない。

兵庫教育文化研究所は、

そのためにいろいろな資料を作成してい

てあるといふべきことではない。

授業時数の確保や

時休業になり非常に混雑し

ていている。授業時数の確保や

</